

## 現代数学基礎 CIII 10月31日分演習解答\*1

担当: 柳田伸太郎 (理学部 A 館 441 号室)

yanagida [at] math.nagoya-u.ac.jp

<https://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yanagida/2019WC3.html>

## 5 Cauchy の積分定理 2

## 5.1 ホモトピーと単連結領域

**問題 5.1.** 弧状連結なので連結である. 開集合であることは仮定に含まれているので, これで領域であることが示せた. 次に単連結であることを示す.  $S$  の二点  $p, q$  を結ぶ曲線  $\gamma$  とそれらを結ぶ線分  $I$  がホモトピー同値であることを示せば十分. 前者のパラメータ表示を  $f(t) : [0, 1] \rightarrow S$  とし, 後者のパラメータ表示を  $g(t) : [0, 1] \rightarrow S$  とすると,  $H(s, t) := (1-s)f(t) + sg(t)$  は凸であるという仮定から  $S$  への写像で, 連続であり, ホモトピーを定める.

**問題 5.2.** 弧状連結なので連結. 開集合であることは, 任意の  $z \in \mathbb{C} \setminus \{(-\infty, 0]\}$  に対して  $D_{|\operatorname{Im}(z)|/2}(z) \subset \mathbb{C} \setminus \{(-\infty, 0]\}$  となることから従う. 単連結であることを示すには任意の閉曲線  $C$  が一点とホモトープであることを言えばよい.  $C$  は  $\{z \in \mathbb{C} \mid z > 1\}$  の領域内の部分とホモトープだから, あとは  $\{z \in \mathbb{C} \mid z > 1\}$  が単連結であることを言えばよいが, それは凸開集合なので問題 5.1 より従う.

**問題 5.3.** 弧状連結なので連結である. 開集合であることは, 任意の  $z \in \mathbb{C} \setminus \{0\}$  に対して  $D_{|z|/2}(z) \subset \mathbb{C} \setminus \{0\}$  となることから従う. 単連結領域ではないことを示すのに関数  $f(z) = 1/z$  を考える.  $f$  は  $\mathbb{C} \setminus \{0\}$  上で正則だが, 単位円に正の向きを入れたものを  $C$  として  $\int_C f(z) dz = 2\pi i \neq 0$ . もし  $\mathbb{C} \setminus \{0\}$  が単連結ならば定理 5.1.5 より  $f$  は原始関数を持つので  $\int_C f(z) dz = 0$  となり矛盾する.

**問題 5.4.**  $(z^2 + 1)^{-1} = ((z+i)^{-1} - (z-i)^{-1})/(2i)$  と分解する.  $C_{\pm}$  を  $\pm i$  を中心とし半径を  $1/2$  とする円に正の向き付けを入れたものとして

$$\begin{aligned} \int_C \frac{dz}{z^2+1} &= \int_C \frac{1}{2i} \left( \frac{1}{z+i} - \frac{1}{z-i} \right) dz = \frac{1}{2i} \int_C \frac{dz}{z+i} - \frac{1}{2i} \int_C \frac{dz}{z-i} \\ &= \frac{1}{2i} \int_{C_-} \frac{dz}{z+i} - \frac{1}{2i} \int_{C_+} \frac{dz}{z-i} = \frac{2\pi i(1-1)}{2i} = 0. \end{aligned}$$

**問題 5.5.** 積分を  $I$  で表すことにする.

(1)  $z = 0$  を中心とした半径  $r < 1/2$  の円での積分と同じになるので,  $I = 2\pi i \times 1 = 2\pi i$ .

(2) 被積分関数は積分路の上とその内部で正則なので  $I = 0$ .

(3)  $(z^2 - 4/9)^{-1} = (z - 2/3)^{-1}(z + 2/3)^{-1}$  で積分路の内部では  $z = 2/3$  を除いて正則. その周りでは,  $w := z - 2/3$  として

$$\frac{1}{z^2 - 4/9} = \frac{1}{w} \frac{1}{w + 4/3} = \frac{3}{4} \frac{1}{w} (1 + O(w))$$

と展開できるので,  $I = 2\pi i \times 3/4 = 3\pi i/2$ .

\*1 2019/05/04, ver. 0.1.

問題 5.6. 積分を  $I$  と表す.  $z = 2e^{i\theta}$  とすると  $d\theta = dz/iz$ ,  $\cos \theta = (z + z^{-1})/2$  なので

$$I = \int_{|z|=1} \frac{dz}{iz} \frac{1}{1 - c(z + z^{-1}) + c^2} = \int_{|z|=1} \frac{idz}{c(z - c)(z - c^{-1})}.$$

単位円上とその内部では被積分関数は  $z = c$  を除いて正則で,  $z = c$  の周りでは  $w := z - c$  として

$$\frac{1}{c(z - c)(z - c^{-1})} = \frac{1}{cw(w + c - c^{-1})} = \frac{1}{c(c - c^{-1})w} (1 + O(w))$$

と展開できるので,  $I = 2\pi i \times i/(c^2 - 1) = 2\pi/(1 - c^2)$ .

問題 5.7. (1) Green の公式から直ちに従う.

(2)  $f(z) = f(x + iy) = u(x, y) + iv(x, y)$  と実部と虚部に分けると,  $(u(x, y), v(x, y))$  の Jacobi 行列式は, Cauchy-Riemann 方程式と  $f'(z) = u_x(x, y) + iv_x(x, y)$  から

$$\begin{vmatrix} u_x(x, y) & v_x(x, y) \\ u_y(x, y) & v_y(x, y) \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} u_x(x, y) & v_x(x, y) \\ -v_y(x, y) & u_x(x, y) \end{vmatrix} = u_x(x, y)^2 + v_x(x, y)^2 = |f'(x + iy)|^2.$$

よって  $f(D)$  の面積は

$$\iint_{f(D)} dudv = \iint_D |f'(x + iy)|^2 dx dy.$$

問題 5.8. (1)  $|w| > R$  より, 被積分関数は  $C$  上とその内部で正則である. 従って積分は 0.

(2)  $\zeta = Re^{i\varphi}$  と変数変換する.

$$\operatorname{Re} \left( \frac{Re^{i\varphi} + z}{Re^{i\varphi} - z} \right) = \operatorname{Re} \left( \frac{\zeta + z}{\zeta - z} \right) = \operatorname{Re} \left( -1 + \frac{2\zeta}{\zeta - z} \right) = -1 + \frac{\zeta}{\zeta - z} + \frac{\bar{\zeta}}{\bar{\zeta} - \bar{z}}$$

に注意して, 示すべき等式の右辺は

$$\begin{aligned} \int_C f(\zeta) \left( -1 + \frac{\zeta}{\zeta - z} + \frac{\bar{\zeta}}{\bar{\zeta} - \bar{z}} \right) \frac{d\zeta}{i\zeta} &= \frac{1}{i} \int_C \frac{f(\zeta)}{\zeta - z} d\zeta + \frac{1}{i} \int_C f(\zeta) \left( -1 + \frac{\bar{\zeta}}{\bar{\zeta} - \bar{z}} \right) \frac{d\zeta}{\zeta} \\ &= 2\pi f(z) + \frac{1}{i} \int_C f(\zeta) \left( -1 + \frac{\bar{\zeta}}{\bar{\zeta} - \bar{z}} \right) \frac{d\zeta}{\zeta}. \end{aligned} \quad (5.1)$$

ここで  $C$  上で  $\bar{\zeta} = R^2/\zeta$  となることに注意して

$$\frac{1}{i} \int_C f(\zeta) \frac{\bar{\zeta}}{\bar{\zeta} - \bar{z}} \frac{d\zeta}{\zeta} = \frac{1}{i} \int_C \frac{f(\zeta)}{1 - \bar{z}/\zeta} \frac{d\zeta}{\zeta} = \frac{1}{i} \int_C \frac{f(\zeta)}{1 - \bar{z}\zeta/R^2} \frac{d\zeta}{\zeta} = \frac{1}{i} \int_C \frac{f(\zeta)}{1 - \zeta/w} \frac{d\zeta}{\zeta}.$$

従って (5.1) の最右辺は

$$2\pi f(z) + \frac{1}{i} \int_C f(\zeta) \left( -1 + \frac{1}{1 - \zeta/w} \right) \frac{d\zeta}{\zeta} = 2\pi f(z) + \frac{1}{i} \int_C f(\zeta) \frac{1}{\zeta - w} d\zeta.$$

第二項は (1) より 0 なので, 結論を得る.

以上です.